

令和2年度 事業報告

1.法人の概要

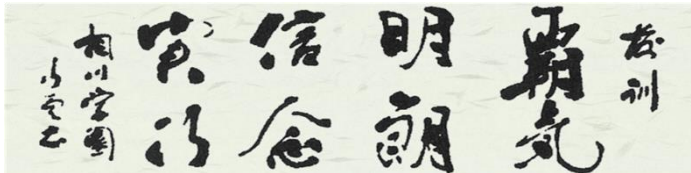
①『建学の精神』

社会に貢献しようとする強い使命感と豊かな人間性を備えた人材の育成

相川学園の建学の目的は、学校と産業界（企業）が協力し、一体となって教育を行うという「産学一体」の理念に基づき、理論は教室で学び、実習は工場で行い、信義に篤く、人柄の良い、理論と実践能力を兼ね備えた優秀な技術者の育成にある。その実習は、新鋭機械・諸施設・開発試験設備の完備せる工場において、経験豊かな多数の熟練技術者によって直接指導を受け、意欲に満ちた勤労の習慣を養い、技術の基礎を修練し、中堅技術者を育成する。

これが、建学の精神である。この建学の精神に基づいた人間教育は今日でも脈々と受け継がれている。

『校 訓』



②教育目標

静清高等学校が掲げる2つの柱

1 人間力の育成

(1) 強健な身体と健全な精神の上に豊かな情操を兼ね備え、真に勤労を愛する人材を育成する。

(2) 明朗で誠実な心を育て、協調性に富んだ責任感の強い人材を育成する。

(3) 正しい人生観、世界観を確立できるようにし、社会への奉仕を厭わない人材を育成する。

(4) コミュニケーション能力を向上させ、世界に通用する人材を育成する。

2 考える力の育成

(1) 不撓不屈の精神で、創意工夫し課題解決できる人材を育成する。

(2) 新しいことに積極的に挑戦できる進取の精神を持った人材を育成する。(3) 自ら進んで考え、行動できる創造力豊かな人材を育成する。

③学園の沿革

昭和16年3月	財団法人 相川学園設立認可
	静清工業学校機械科設置認可
	理事長 相川繁吉氏、校長 諏訪広吉氏就任
16年5月	開校式（静岡市、柚木）
18年4月	校舎第一期工事落成
20年1月	校長 柴田栄一氏就任

20年4月 理事長 神戸 陽氏就任
 22年4月 新学制により静清中学校設置許可
 23年3月 校長 相葉 繁氏就任
 学制改革により新制高等学校「静清工業高等学校 全日制 工業科」設置
 理事長 相川 繁吉氏就任
 24年3月 理科室・製図室落成
 25年4月 私立学校法により学校法人許可
 25年10月 創立10周年記念式挙行
 27年4月 電気通信科設置
 28年4月 校長 中村満雄氏就任
 28年9月 理事長 相川繁吉氏欧米視察
 29年3月 電気通信科実験室落成
 29年10月 理事長 相川繁吉氏産業教育功労者として県より表彰を受ける
 31年10月 創立15周年記念式挙行
 32年4月 校長 臼田 行夫氏就任
 33年5月 理事長 相川繁吉氏再度米国視察
 33年11月 理事長 相川繁吉氏産業功労者として県より表彰を受ける
 34年4月 理事長 相川繁吉氏藍綬褒章を受ける
 34年6月 機械科実習工場落成
 36年4月 定時制機械科設置認可
 37年11月 創立20周年記念式挙行
 39年11月 理事長 相川繁吉氏第3回欧米視察
 43年4月 理事長 相川繁吉氏勲三等瑞宝章を受ける
 44年4月 校長 清水明氏就任
 44年8月 公認50m プール完成
 46年3月 新校舎竣工（藤枝市潮）
 46年3月 電気科設置認可
 46年4月 新校舎で昭和46年度授業をはじめ
 46年11月 創立30周年・新校舎落成記念式挙行
 51年10月 相川学園 野球ホーム完成
 55年4月 第3種電気主任技術者免状資格有（昭和54年3月以降電気科卒業者）
 55年10月 室内練習場（優秀館）完成
 56年4月 校長 市川高明氏就任
 57年2月 機械科実習棟完成
 58年11月 パソコン室完成
 59年6月 体育館完成
 60年7月 第67回全国高等学校野球選手権静岡大会準優勝
 61年2月 運動場自動散水設備完成
 61年8月 定時制機械科廃止認可
 61年10月 パソコン室移設・拡張（現第2）
 63年3月 野球場完成
 平成元年8月 駐輪場完成
 元年10月 運動部・音楽部部室完成
 3年11月 創立50周年記念式挙行
 3年12月 パソコン室完成（第1）
 4年7月 第74回全国高等学校野球選手権静岡大会準優勝
 4年8月 理事長 相川叔彦氏就任
 6年6月 創立者 相川繁吉胸像除幕式
 7年3月 電気科実習棟「家庭科施設・図書施設併設」完成

- 9年 1月 ハンドボールコート完成
- 15年 4月 校長 池田靖氏就任
- 17年 3月 静清高田グラウンド取得
- 17年 7月 第87回全国高等学校野球選手権静岡大会優勝
- 17年 8月 野球部甲子園初出場
- 17年 10月 第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」野球部出場
- 18年 4月 校長 増田健吉氏就任
- 20年 4月 校長 酒澤政明氏就任
- 21年 4月 理事長 相川雅紀氏就任
- 21年 7月 普通科設置認可
- 21年 12月 新学生寮(学生館)完成
- 22年 4月 理事長 清水政文氏就任
普通科設置に伴い校名を「静清高等学校」に変更
- 23年 3月 野球部甲子園選抜大会初出場
- 10月 理事長・校長 酒澤 政明氏 就任
- 28年 11月 第69回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝
- 29年 1月 第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー) 初出場
- 29年 11月 第70回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝
- 30年 1月 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー) 出場
- 30年 11月 第71回全日本バレーボール高等学校選手権 静岡県大会優勝
- 31年 1月 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー) 出場
- 令和3年5月16日 第80回創立記念日

④学生数の状況

令和3年5月1日現在

学校名	科名	学則定員	現員数
静清高等学校	文理探究科	120人	90人
	工学探究科	600人	429人

⑤理事・監事の概要

(令和3年5月1日現在) 定員数理事7名・監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	適用
理事長	濁澤次美	常 勤	平成21年10月1日就任 令和2年5月29日理事長就任
常務理事	酒澤政明	常 勤	平成20年4月1日理事就任 H23.10.1~R2.5.28 理事長
	兒島良孝	非常勤	平成29年12月11日就任
	小島 登	非常勤	平成29年12月11日就任
	大竹茂樹	非常勤	平成30年5月13日就任
	長坂博文	常 勤	令和2年5月29日就任
監事	山田知広	非常勤	平成30年5月13日就任
	木内和彦	非常勤	平成22年5月13日就任

⑥評議員の概要

(令和3年5月1日現在) 定員数 15名

氏名	就任年月	主な現職等
濁澤次美	平成21年10月	理事長
大竹茂樹	平成21年4月	会社役員
小島 登	平成29年12月	会社役員
濁澤光宏	平成30年5月	会社役員
酒澤政明	平成18年5月	校長
曾根正明	平成30年5月	教員
長坂博文	令和2年5月	事務長
藪崎雄大	令和2年5月	教頭
山木繁男	平成21年10月	会社員
大代三男	平成23年10月	会社員
藪崎仁志	平成26年5月	会社員
小林 真	平成30年5月	会社員
桑原克之	平成20年4月	会社員
鈴木 明	平成20年4月	会社員
原田はるみ	平成29年5月	会社員

⑦令和2年度 法人理事会・評議員会開催結果

第1回理事会(令和2年5月29日 13:30~14:30)

- ・令和元年度事業報告
- ・令和元年度決算書報告、及び監事による会計監査報告について
- ・校舎改築進捗状況等報告について
- ・令和2年度第1回補正予算書(案)について
- ・学校法人理事及び評議員の選任(案)について
- ・理事長及び常任理事について

第2回理事会(令和2年12月23日 10:00~11:10)

- ・教科課程等一部改正(案)について
- ・本館進捗状況について報告
- ・校舎新築工事費に係る借入金について
- ・令和2年度第2回補正予算書(案)について
- ・その他(理事長より令和4年度からの男女共学について)

第3回理事会(令和3年3月16日 14:40~15:40)

- ・学則の一部改正について
- ・本館新築進捗状況
- ・令和2年度第3回補正予算(案)
- ・令和3年度事業計画(案)
- ・令和3年度当初予算(案)について

第1回評議員会(令和2年5月29日 12:30~13:15 14:35~14:45)

第2回評議員会(令和2年12月23日 9:00~9:50)

第3回評議員会(令和3年3月16日 13:30~14:40)

⑧教職員の概要

(令和3年5月1日現在)

	区 分	人 数
教 員	常 勤	43 人
	非常勤	15 人
職 員	常 勤	9 人
	非常勤	7 人

2.事業の概要

(1) 本館建て替え

本館新築工事に係る入札を行い建築業者には竹中工務店(株)・鈴与建設(株)共同企業体に決定した。令和2年11月9日工事請負契約書にて契約を結ぶ。着工令和2年12月1日、完成令和4年11月30日。本館の竣工は令和4年2月末日となり3月中に引っ越し作業ののち4月から男女共学と同時に使用を開始する。

(2) 人づくり

「社会から求められる人材を育成する」を学校評価目標とし、生徒課・教務課を中心に「思考力」「判断力」「表現力」の身についた人間作りを実行し、社会を生き抜く力と人を思いやる優しい心を兼ね備えた人材育成が行われた。

(3) 進路指導課の強化

学校力を問われる進路は、「行ける進路」から「行きたい進路」を目標とし進路課を中心に全職員をあげて多様な生徒の希望に応えることができるようになった。授業はもとより、ゼミ、補習の強化が結果を後押しし、効果を上げている。就職希望者も同様に、積極的な資格取得、きめ細やかな職員の指導と企業との強い信頼関係により、本年度も就職内定率は100%となった。

(4) 文理探究科

習熟度別、少人数制の授業構築が行われている。これにより従来の一方的な受け身の授業から、生徒一人ひとりに合った、生徒主体の授業展開となっている。プロジェクターやスマートフォン、PCを利用したICT教育も行われ、コロナ渦でもZOOM等を利用した遠隔授業で学習の遅れが起こらない工夫がなされた。これは、教員のスキルアップになり指導力、授業の効率が向上した。結果として上記(3)の進路実績につながった。

(5) 工学探究科

就職率100%を継続している工学科において、将来を見添えた中で生徒への最善の授業を展開する。コース制の採用により、各コースの特性を生かした興味を引く取り組みが行われており、教員の指導力、スキル向上が見られた。

① 機械システム工学コース

中堅技術者の育成のため、実習などの体験型、少人数授業を行い経験、実践しながら知識、技能を習得させることができた。生徒に積極的に資格取得に挑戦させるための雰囲気づくりと取得のためのフォローができた。

② 電機システム工学コース

動力が、エンジンからモーターへ世界が移行しているなか、今後、電気システムコースの役割は大きくなっていく。電気工事士の資格取得に力を入れ、授業では本校独自科目の「電気工事」を設定し放課後には補習を行うなど対策を支援している。

③ メカトロニクス・情報工学コース

急速に伸びる情報化社会に対応するため、コンピューター操作の基礎・基本からハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク技術、プログラミングまで進路に合わせ幅広く授業展開が行われている。

(6) 中学生募集活動の強化 (学校説明会 令和2年8月～12月 計6回実施)

募集定員充足に努力した。

(7) スクールバスの運行の強化

これまでの「学校⇄相良」便に加え、令和2年度から「学校⇄焼津駅北口」のスクールバスの運行を開始し生徒の通学の利便を図ることができた。スクールバスの利用者は増加傾向にある。

(8) 財政の健全化

1学年定員240名に対し、令和2年度入学生は文理探求科と工学探究科合計179名と充足率は約75%に留まり、昨年度比横ばいの状態であった。経常費の節減に努め財政の健全化を図ることを継続している。

(9) 教育環境

校内の住環境・教育環境の整備を一層進めている。

(10) 「自主講座」の開講

学校に一般の希望者を募って開講する「自主講座」は好評であるが、本年度は新型コロナウイルスの影響で中止が相次ぎ、開講数が2回となってしまった。開講された「駿遠鉄道線」「アンネ・フランク」は対策を講じた中で、熱心な一般ファンが訪れた。

(11) 学校改革委員会

学校改革委員会より様々な提言を行った。絶対的生徒数の減少の中で、生徒を確保する「入れる高校」から「入りたい高校」への転換のとりかかりができた。令和4年度募集から女子生徒受け入れ、新校舎・新制服・新コースの設立に向け準備を整えている。

4. 新入生募集結果 (令和3年度入学実績)

新入生合計	180名
「文理探究科」 (男)	
文理探究コース	} 34名
スポーツ探究コース	
「工学探究科」 (男)	
工学探究科計	146名

5. その他

- ① 当該年度の重要な契約はない
- ② 現在のところ係争事件はない
- ③ 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事項はない。